

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和52年～			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	01 母子保健(歯科保健を含む)
事務事業名		02	マザーズスクール事業
根拠法令・規程等		問	担当課(室) 保健課
		答	職・氏名 健康係長・白髭由美子
		先	電話 64-1820

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	主に言語緒及び情緒の発達が気になる幼児とその保護者
目的(何のために)	保護者が子どもの成長発達を受け入れ、子育ての方向性を見出せるよう支援する
行政活動(どのような方法で)	週2回の通所訓練(集団遊戯訓練、個別訓練、個別相談等)と、週1回の開放日(うち1回/月は交流会)を実施
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	保護者が、不安や悩み軽減することができる。

事業の実績							
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
	実施回数(135回)	うち	訓練日	回	90	90	90
実績			交流会	回	12	12	12
			開放日	回	33	33	33
	参加実人員		人	46	49	42	
	参加延人数		人	1,096	1,144	995	
		うち	訓練日参加延人数	人	1,052	1,113	955
			交流会参加延人数	人	44(うち卒園者34)	31(うち卒園者10)	40(うち卒園者14)
		開放日参加延人数	人	0	0	0	
実績	直接事業費	千円	4,605	4,557	2,657		
	必要人員	人	0.40人	0.39人	0.22人		
	事業費	千円	7,020	6,919	4,088		
	国	千円	1394	1394	1321		
	県	千円	0	0	0		
	支	千円	5,626	5,525	2,767		
出	千円						
金	千円						
担	千円						
負	千円						
担	千円						
比	千円						
率	千円						

結果指標					
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	達成率(B/A)
実施回数	説明	訓練日90回・開放日33回・交流会12回の合計			
結果指標①	結果指標量	135	135	135	100.0%
	対前年比	100.0%	100.0%	100.0%	
	活動コスト	7,020,000	6,919,000	4,088,000	
	単位当たりコスト	52,000	51,252	30,281	
結果指標②	参加延人数	1,052	1,113	955	85.8%
	対前年比	105.8%	105.8%	85.8%	
	活動コスト	7,020,000	6,919,000	4,088,000	
	単位当たりコスト	6,673	6,217	4,281	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
参加者の不安や悩みが軽減された者の割合	目標値(A)	90	90	90	90
	実績値(B)	70	88	83	到達目標年度
	達成率(B/A)	77.8%	97.8%	92.2%	平成20年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
参加者アンケート結果 通所により不安が解消された者の割合(マザーズスクールに参加して不安が解消された者/アンケート回収数)					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			妥当性評価<A~E>		
市の関与の妥当性	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識		A
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明 参加者の多くは、ことばの遅れやこだわり等による育児困難があり支援が必要である。	判定理由・課題認識		A
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	判定理由・課題認識		A
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	判定理由・課題認識		B
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識		B

平成21年度の状況							
目標値	結果指標量①	135	結果指標量②	1,000	成果指標量	90	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	参加者が継続的に参加できるよう、マザーズスクール従事保育士だけでなく地区担当保健師も保護者と面談の機会をもち、不安や悩みの軽減に努めていく。また、同じ境遇にある参加者(既卒園者含)が集う交流会の中で保護者同士が想いを分かちあい、自らが解決策を見出せるように支援していく。						

総合評価		評価区分<A~E>
<p>育児不安を解消するために継続した支援が必要であり、気になる親子の要フォロー教室として必要な事業である。親子のみで訓練する開放日は利用が少なく、月・木の訓練日に利用が偏っている。アンケート調査等を通して、教室内容を検討するとともに、参加者が継続的に参加できる教室を目指して、内容・開催日の設定について検討をしていく。</p>		<p>B</p>

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	保育士・言語聴覚士等、係以外の専門職の配置が必要なことから、各種関係機関との連絡・調整を図りながら、マザーズスクールの体制を整備する。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
有効性	参加者に確実にアンケート調査を実施し、事業についての評価を行う。	平成21年度	事業の有効性の評価を行い、今後の内容検討に役立てることが期待される			